

精密光合成測定装置

東京大学 大学院理学系研究科
生物科学専攻 植物生態学研究室

主旨

この文章は、以下の光合成解析システムを用いて、効率的に研究支援を行うための手引きです。

蛍光解析装置 (WALZ 社製・PAM2500)
ガス交換解析装置 (WALZ 社製・GFS3000)

利用上の注意点

1. 管理者は、原則として機器の管理と予約、基本的な使い方の説明を行う。
2. 実際の測定、及び、測定データの解析は、基本的に使用者自身が行う。したがって、本装置を用いた測定に習熟していることが望まれる。
3. 本装置の使用に不慣れな場合には、使用前に装置の使用方法や測定サンプルの準備について管理者に相談すること。
4. 利用が長時間になる場合（数日以上）のサンプルの管理方法については、事前に管理者に相談すること。
5. 病虫害等を持ち込まないようにすること。

利用の流れ

- ① 研究利用の事前連絡（貴研究室→当チーム）：目的、サンプル、サンプル数
- ② 事前打ち合わせ：機器の使用方法、実験内容、測定スケジュール、サンプルの管理等の必要情報
- ③ 支援開始、管理者に電子メールで装置の使用予約
- ④ 分析サンプルの持込、測定
- ⑤ データ解析、データ持ち帰り

参考論文

本機に付属するマニュアル、解析ソフトは WALZ 社の HP からダウンロードできる。

URL: <http://www.walz.com/>

費用負担

測定に伴う薬剤（シリカゲル、加湿剤、ソーダライム）については、使用量にしたがって、後日請求する。故障修理や点検に伴う費用は、利用状況を判断の上、使用者に請求することがある。

Authorship

原則として依頼分析は行わない。測定法に習熟してない等、測定に補助が必要な場合には、事前に相談されたい。

なお、本プログラムを利用して得られた研究結果等を論文発表する際は、その論文の別刷あるいはコピーを、論文掲載後速やかに管理者に送付されたい。

管理者連絡先

itera@bs.s.u-tokyo.ac.jp、 寺島 一郎

wataru.yamori@bs.s.u-tokyo.ac.jp、 矢守 航

konom07@bs.s.u-tokyo.ac.jp、 河野 優